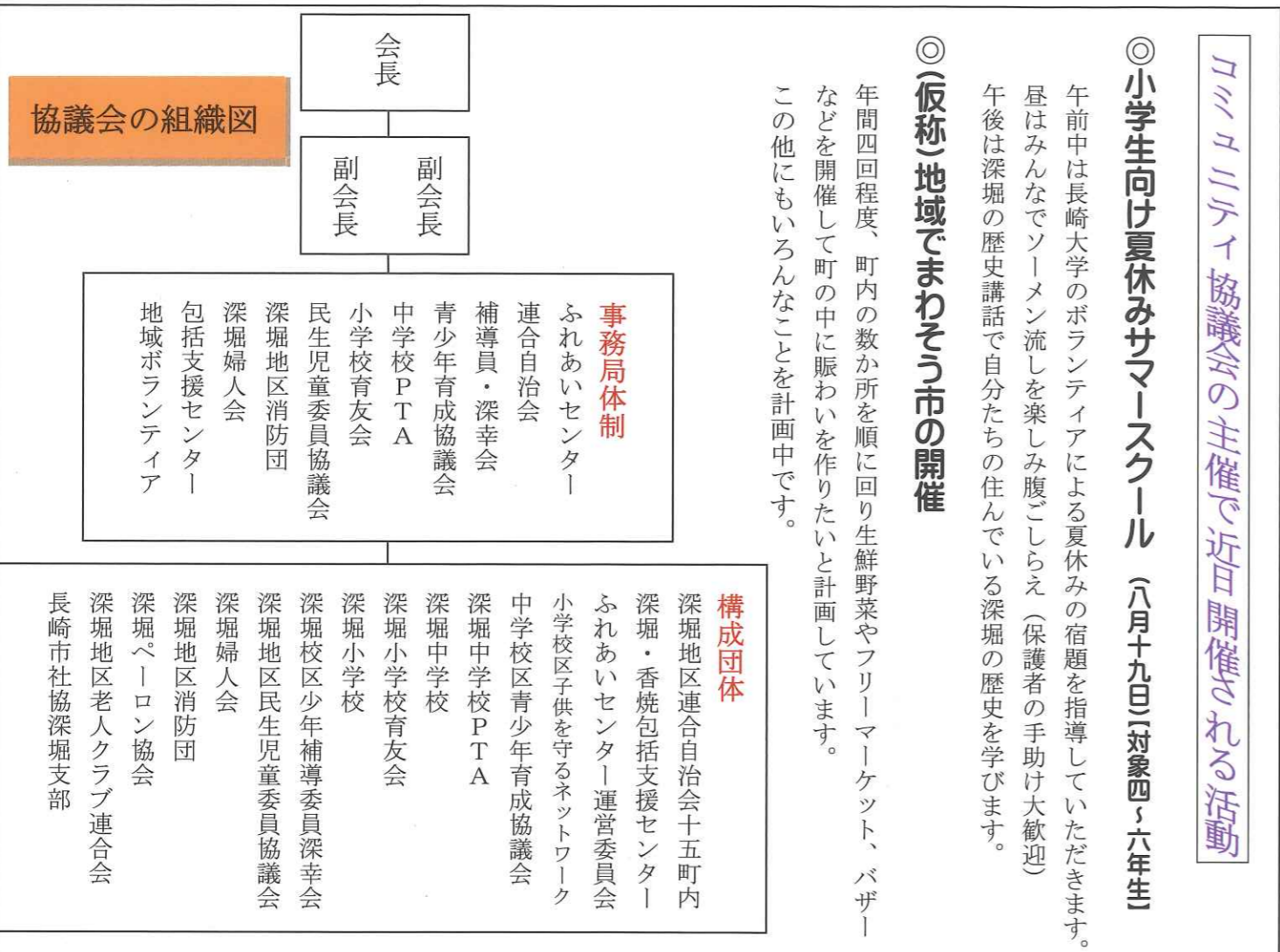


「深堀地区コミュニティ協議会が発足しました」

聞きなれない名称ですが、「深堀地区コミュニティ協議会」とは、町内で活動しているあらゆる団体が意見を出し合い、町内の総意としてまちづくりを進めてゆく団体です。

まちづくりといっても施設を作ることや、設置することばかりではなく、高齢者や子どもたちの福祉や地域の伝統文化の継承までも、「皆で一緒に考えて行動しましょう」という組織です。

今年は市内で6地区がモデル事業として活動していますが、深堀では活動の一環として、夏休み中に子供たちを対象に、様々な活動を予定しています。



「長崎市社会福祉協議会深堀支部」の総会が開催されました

6月15日に、多くの関係機関や協賛企業の皆さんの参加を頂き社協深堀支部の総会が開催されました。御多忙の中参加してくださいました地元企業の皆様には、日頃から社協の活動に積極的に協賛して頂き、大変ありがたく思っています。

今年の総会では、長年支部活動に貢献された3名の方への感謝状贈呈が報告され、後日お届けすることが約束されました。

今後、急激に高まる高齢者対策や幼児、児童を巻き込んだ犯罪など地域を挙げて守りたい課題も山積しています。私たちにできる身近な対策から皆さん協力してください。門灯を少し遅くまで点灯、児童の登下校時に犬の散歩を行うなどは今日からできそうですね。



裏面に関連記事

地域情報紙

第1号

ふかほり

発行 深堀地区コミュニティ協議会
 所在 深堀地区ふれあいセンター内
 長崎市深堀町5丁目182番地
 電話 871-2387
 平成30年7月

優秀賞を受賞

『都市景観の日』実行委員会会長賞

国土交通省が後援する都市景観の日・教育部門で、深堀地区まちづくり推進協議会の活動が、高く評価されました。

深堀地区に於けるこれまでのまちづくり活動が評価され、全国規模の賞を頂くことができました。町内の皆さんが、これまで「歴史&福祉」のカルタや恵比須マップをはじめ、行事や町を紹介したふるさとカレンダー作りなど、地域住民目線で活動していることや、それを大学、行政と協働で行ってきたことが高く評価された結果です。

「小さな町の小さな活動」でも、継続することがいかに大切なことを実感するとともに、多くの皆さんがそれぞれの立場で協力し合った結果でもあります。ほかの地域と比べ「あれもない、これもない」をいうよりは、もう一度、知り尽くしている深堀の足元を見つめなおして、町内の素晴らしいところを見つけてみましょう。

よく聞く話で「生き生きした町か、そうでない町」の違うところは「評論家の多い町」は何も進まず、「行動から入る町」は活き活きとした街になるそうです。私たちの深堀も、机上の空論より行動の一步を目指して、これからも進みたいと思います。

今回の応募は「深堀地区まちづくり推進協議会・長崎市・長崎大学工学部安武研究室・環境科学部渡辺研究室・九州大学持続可能な社会のための決断科学センター」が、共同で応募したものが受賞したものです。下の評価にみられるように、深堀の特定の施設が対象になったのではなく、まちづくりに対する取り組み全般が評価されました。

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

民・学・官が一体となった歴史ある住宅地「深堀地区」の景観まちづくり

活動範囲 長崎県長崎市
応募者 深堀地区まちづくり推進協議会、長崎大学工学部安武研究室、長崎大学環境科学部渡辺研究室、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター、長崎市

活動の概要
 深堀地区は、深堀鍋島家として、長崎市唯一の城下町であり、カギ型街路や石堀が数多く築かれた。こうした資源が住宅開発等で失われていることに危機感を持った住民が、歴史的景観をまちづくりに活かすため、平成7年度、地域住民主導によるまちづくり推進協議会が設立された。住宅地であるため、景観まちづくりと自治活動は不可分の考えから、協議会と自治組織を一体とした独自の仕組みが構築された。

平成23年4月の長崎市景観計画の施行を契機に、地域住民だけでなく、大学や行政等と協働し、積極的に景観まちづくりに取り組む機運が生まれた。平成24年4月深堀地区景観形成重点地区の指定、平成26年3月法定外の深堀地区景観まちづくりガイドライン策定、平成29年4月深堀ふれあい広場の完成のほか、地区内の5件の景観資産を景観重要建造物に指定するなど、住民のアイデアを協議会で合意形成することで活動の成果が目に見える形で表れてきている。



「景観重要建造物・山崎氏石堀」は、角地に立ち、武家屋敷深堀の街角景観を形成している。

審査講評
 深堀地区には城下町の歴史と企業住宅や県営団地が共存し、石堀など城下町の風情が残るなかで住宅の建て替えも進む地域である。地域の皆さんが主体となって大学や市役所を巻き込みながら石堀の維持や保存の仕組みを運用し、また、ワークショップによる広場の設計・整備が行われてきた。他にも「歴史&福祉カルタ」やオリジナルのカレンダーを住民自ら作成するなど、まちの価値を共有し維持する体制や仕組みを上手に機能させ、空間の雰囲気作りと市民の意識向上に成果を上げている。大学生の参画が地域の刺激になる一方、大学側にとっても隣接分野の協働が実現している。これらの多様な活動に支えられた景観まちづくりを高く評価したい。

しかしそれ以上に重要なことがある。こうした景観まちづくりの体制と合意形成や運営の仕組みは、景観のみならず防災や福祉など地域の課題への取り組みにも適用されているのである。つまり景観が地域自治活動の一環として他の課題と緊密に連携しながら議論されているのである。これこそ景観まちづくりが目指すべき形のひとつではないだろうか。

今後も継続的にこの仕組みが機能し、城下町の景観保全、防災、福祉などを地域の皆さんが活発に議論し、かつ自ら担い手となる自立した地域として持続していられることを大いに期待したい。(福井)

国土交通省のホームページより転載しました

婦人会館最後のふれあい食事会

ごくろうさま『婦人会館』

長年町内に親しまれてきた婦人会館も、老朽化のため台風シーズンを前に六月の食事会後に解体することが決まりました。建設から約五十年にわたりふれあい食事会や、成人式の懇親会など、深堀地区のシンボルとして頑張ってくれた建物でしたが、経年劣化がひどく修理することもできない状態になりました。建物とともに歩いてきた婦



在りし日の食事作り



盛り付けは民・児委員

人会の皆さんにとつては、この会館とともに築いてきた深堀婦人会の歴史を顧みて、大変切ない気持ちでいっぱいでしょう。せめて、会館での最後のふれあい食事会に感謝を込め、皆さんの心の整理をしてほしいとの想いです。
十月からの食事会はふれあいセンターに場所を変え、これまで同様のふれあい食事会が行われます。最初は調理室の勝手がわからず、苦労があるかもしれませんが、ボランティアの手も借りながら、頑張ってください。

住宅用火災警報器設置のお願い

昨年末に住宅火災警報器の設置調査をして頂きましたが、未設置の世帯が少数ですが存在します。近年には町内でも火災が発生して哀しい結果となってしまいました。私達はこの事を大きな教訓として安心安全へとつなげて行く事が大事ではないでしょうか。今、連合自治会では各地区の自治会長さんや民生・児童委員、婦人防火クラブと心を一つにして警報器の全世帯普及を目指しています。警報器を付けたから安心ではもちろんありませんが、設置していないのと比べ安心は各段の違いです。火災は自分だけでなく周辺にも多くの被害を及ぼすことから、町内みんなで設置に向け協力しましょう。高齢者のお宅など自分で取り付けられない人、電球など取り換えられない方はいつでも自治会長や、民生・児童委員へ相談して下さい。

警報器の音声ガイド

- ◎ 火災↓ビュー、ビュー 火事です・火事です
- ◎ 異常↓ピツ三回 故障ですの音声
- ◎ 作動試験↓ピツ一回 正常ですの音声
- ◎ 電池切れ↓ピツ一回 電池切れですの音声
- ◎ それぞれ四種類の電子音と音声で知らせてくれる事がパンフレットで説明されていますので参考までに記載。

伝統の深堀ペーロン大会開催



宮崎護ペーロン協会会長の開会のあいさつに、チームの優勝に闘志を燃やす選手

今年も6月10日(第二日)に、恒例のふかほりペーロン大会が開催されました。当日は、開催時間中は天気にも恵まれ、選手と観客が一体となって大変な熱気でした。

どこのチームも、乗組員の確保に大変苦労しているようですが、近隣の地域からの応援もあって継続できることに、関係皆様のご苦労がしのばれ、選手に、会場にそして伝統に、感激の一日でした。



夏休み期間ふれあいセンター情報

- 夏休み期間中は、児童生徒向けの楽しい講座を、たくさん用意しましたので、参加してみませんか。
- ◎ 楽しい七夕かざり作り (参無料) 七月七日(十時~十二時)まで
 - ◎ 楽しいお菓子作り (参300円) 七月二十四日(十時~十二時)まで
 - ◎ 楽しい卓球教室 (参無料) 七月二十六日(十時~十二時)まで
 - ◎ 楽しいフォークダンス (参無料) 七月二十八日(十時~十二時)まで
 - ◎ 楽しい料理教室 (参500円) 八月二十一日(十時~十二時)まで
 - ◎ 児童映画祭 (参無料) 八月二十三日(十時~十二時)まで
 - ◎ 中学生郷土料理を学ぼう (参無料) 八月二十四日(十時~十二時)まで

社協深堀支部総会関連記事

六月十五日、社会福祉協議会深堀支部の総会が、協賛企業やご来賓の参加を頂き、盛況に開催されました。総会では、先の評議委員会で承認された事業・決算の報告や平成三十年度の取り組みの確認と予算の説明を行い、これを満場一致で賛同して頂きました。今後さらに大きくなる高齢者対策や、青少年対策などの福祉活動に、地域を挙げて取り組む大きな課題となります。

◎善意の活動にありがとう

- 深堀公園で、個人のボランティアで草取りをして頂いている方を見かけます、感謝しています。
- 深堀6丁目から大籠への県道で、散歩を兼ねて、空き缶やごみの回収をしてくれている人に出会いました。
- 小学校前のせせらぎを掃除してくれる小学生や、町内の皆さんにいつも感謝しています。
- いつもボランティアで資料館の植木を手入れして頂く方がいます。陰ながらの協力を感謝しています。

お詫び

これまでの「ほっと便」が地域コミュニティ新聞「ふかほり」と名称を変えスタートしました。今まで以上に愛読されることを願い、紙面づくりをいたしますので皆様の協力を宜しくお願ひします。